

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」寝屋川校

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|----------|---|---|----|-----------|-----|---|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | 利用者へ配慮を行いながら、パーティション等を使い、スペースを確保している。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 現状では対応している。 |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | ○ | | | 車いすで利用ができるよう、段差を無くしている。 |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | ○ | | | ミーティング等を行い、対応している。 |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | 実施したアンケートを基に、改善策を考えていく。 |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | 評価結果はホームページ等で周知すると共に、評価・改善内容について会社で集約しホームページにて公開する。 |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | ○ | 今後、検討していく必要がある。 |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | 社内研修や情報共有を行っている。 |
| | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 受付シートの記入とアセスメントシートにて確認を面談時、支援に役立てている。 |
| 適切な支援の提供 | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | | アセスメントシートの利用と内容の改善を行っている。 |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | 指導員等で内容・情報の共有をはかっている。 |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | 月一度のイベントなどを利用し、固定化されないように工夫を行っている。 |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ | | | 季節感を考慮し、長期休暇を利用したイベントなどを行っている。 |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 個別療育であるが、イベントなどで小規模集団などの取り組みを行っている。 |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | 欠席確認、学校行事、流行性疾病、天気などもミーティング等を行い、確認を行っている。 |

| | | | | | | |
|--------------------------|-----|--|---|--|---|---|
| | ⑩⑥ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | 利用者の様子や反応などをミーティング等を行い、共有している。 |
| | ⑩⑦ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | 利用者の様子や反応を支援記録等を残したうえで、共有事項を確認している。 |
| | ⑩⑧ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | 六か月に一度モニタリングを行い、保護者からの要望等から支援計画の見直しを行っている。 |
| | ⑩⑨ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか | ○ | | | 利用者に応じて、複数の活動を組み合わせた支援を行っている。 |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | ⑩⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | 利用者の様子や反応が理解できる指導員が参加し、検討会等対応している。 |
| | ⑩㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | ○ | | | 訪問、電話等を状況に応じて行い、連絡を取り合うようにしている |
| | ⑩㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | | ○ | 現在、配慮の必要な利用者がいない。 |
| | ⑩㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | ○ | | | 市町村の行政機関や発達支援センター等と連絡を取り合い、利用者の状況把握に努める。 |
| | ⑩㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | | ○ | 現在、配慮の必要な利用者がいない。 |
| | ⑩㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | | 市町村の関係機関や北河内連絡協議会など、対応を依頼している。 |
| | ⑩㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | ○ | | | 近隣の児童館やコミュニティセンターへ挨拶等をおこなっており、今後は交流も検討している。 |
| | ⑩㉗ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | ○ | | | 北河内連絡協議会に参加している。 |
| | ⑩㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | 支援後のフィードバック内で、利用者の状況把握等を行っている。 |
| | ⑩㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | | ○ | 現時点では行っていないが、個別で子どもを守る課等の関係機関に依頼し、対応を行っている。 |
| 保護 | ⑩⑩⑩ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | 契約時や支援後のフィードバック時に説明を行っている。 |

| | | | | | | |
|----------|----|---|---|--|---|--|
| 者への説明責任等 | ③① | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | 支援後のフィードバック時になど、保護者から話を聞き、助言等を行っている。 |
| | ③② | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | ○ | | | 会としては行っていないが、イベント時等、交流できるようにしている。 |
| | ③③ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | マニュアルシート等の作成、対応方法を検討している。 |
| | ③④ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | | ホームページ等を活用して、行事の予定を発信している。 |
| | ③⑤ | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | 書類等鍵付きロッカーで保管、管理している。 |
| | ③⑥ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | 情報の共有をはかり、緊急時対応などで電話等を活用している。 |
| | ③⑦ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | | ○ | 地域の方が参加できるようなイベントを実施できていない。 |
| 非常時等の対応 | ③⑧ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | | 利用者の契約時に説明、業務の於いて、マニュアル等を作成し、定期的に訓練を行っている。 |
| | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | マニュアル等を作成し、定期的に訓練を行っている。 |
| | ④① | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | エリア研修会等で定期的に実施している。 |
| | ④② | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ | | | 運営規定や身体拘束についても重要事項説明書に明記し、該当する児童がいれば、対応していく体制を整えている。 |
| | ④③ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | | | ○ | アセスメントシートで事前にお知らせ頂いている。支援中に食事の提供は行っていない。 |
| | ④④ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | 他事業所の例を共有し、マニュアルシート等の作成、対応方法を検討している。 |

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2020 年 2 月 8 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」 寝屋川 校 保護者等数（児童数）： 12（16）回収数： 6 割合： 60 %

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | ご意見、ご意見を踏まえた対応 |
|----------|---|--|----|-----------|-----|----------------|
| 環境・体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 12 | | | |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 12 | | | |
| | ③ | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 9 | 3 | | |
| 適切な支援の提供 | ④ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか | 12 | | | |
| | ⑤ | 活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか | 12 | | | |
| | ⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 3 | 6 | 4 | |
| 保護者への説明等 | ⑦ | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 12 | | | |
| | ⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 12 | | | |
| | ⑨ | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 12 | | | |
| | ⑩ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 1 | 7 | 4 | |
| | ⑪ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 8 | 4 | | |
| | ⑫ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 12 | | | |
| | ⑬ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 6 | 6 | | |
| | ⑭ | 個人情報に十分注意しているか | 11 | 1 | | |

| | | | | | | |
|---------|---|---|----|---|---|--|
| 非常時等の対応 | ⑮ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 11 | 1 | | |
| | ⑯ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 6 | 4 | 2 | |
| 満足度 | ⑰ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 10 | 2 | | |
| | ⑱ | 事業所の支援に満足しているか | 12 | | | |

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。